

## Mt. Pinos 合宿記

「MP9 メンバー、 全員揃って、標高: 8,848' (2,697 m)

### ベンチュラ カウンティー最高峰のMt. Pinos 頂上を征服」

2014年10月24日から26日にかけてベンチュラ カウンティーとカーン  
カウンティに跨って広がる Los Padres National ForestにあるMt.  
Pinos (ピニョス=スペイン語で PINEのこと)の頂上を征服するべく、下記のMP9  
メンバーは、三台の車に食料やその他の日用品を山積みして3階建ての素晴らしい山小  
屋風別荘に集結致しました。

#### MP9メンバー:

ブチ隊長: 細渕 巖 (グリークラブ)

キャプテン: 斎藤 泰 (グリークラブ)

トムさん: 太田 勉 (グリークラブ)

ダンディしょうちゃん: 榎 庄三郎 (グリークラブ・カペラオーパス)

えのみちゃん: 榎 道子 (カペラオーパス)

篤姫: 坂崎 篤子 (カペラオーパス)

ひまわり: 西尾裕子 (カペラオーパス)

ゆりこさん: 長尾ゆりこ (コーラス応援部、秋田県大館市代表)

くーこ: 新田邦子 (カペラオーパス)

以上 9名

#### \*MP9 命名の由来:

ブチ隊長: 「アケビ48ってグループいるでしょう、、、」

その他大勢: 「アケビって?」

ブチ隊長: 「AKB48 っていうグループ、、、」

その他大勢: 「それって、秋葉原の略??？」

——それにしても、アケビとは良く思いついたものです。確かに

AKB,, が付くけど、、、

―――と言う訳で、われわれも、Mt. Pinos合宿隊 9 名、略して、  
MP 9 の誕生となりました。



**10月4日: Mt. Pinos 登頂メンバー顔合わせ初会議を小東京本多屋にて開く**

この日は、合唱連盟合唱祭の為の最終合同練習が小東京西本願寺で行われましたので、その後メンバーは、三々五々本多屋に集合し、厳粛に計画を話し合いました。

その数日後、食料調達、炊事班担当のえのみちゃんとか一こは、篤姫、ひまわりさんの協力を得て、みんなが合宿中、ひもじい思いをしない様、そして、頂上踏破の為に栄養のバランスが良い様に綿密な食事メニュー作り、食料調達の担当者割り当てなどに励んだのです。で、結果、みんな、登頂の折にエネルギーを使ったにも関わらず、おそらく数ポンドぐらい、精神はもちろん、身体にも成長を遂げて無事合宿を終え、名残をおしみつつ解散、の運びとなりましたとさ。

で、この合宿記がすんなり終わってしまっっては、折角読んで下さっている皆さんに申し訳ないので楽しかった出来事を以下にほんの一部ですが共有したいと思います。

10月24日:

いよいよ、合宿に出発の日です。食料をしこたま買い込み、Myトイレットペーパー、Myタオル、My毛布までかばんにパンパンに詰め、小川不動産に集合したトランス出発組メンバー6名はトムさんのバンが破裂するんじゃないかと思うくらい次々に、メンバー、荷物を一杯積み込みました。後ろの座席に座った、篤姫、ひまわりさんは荷物に囲まれ身動きが出来ない～。

「無事に、この車動くの～？」

と言うトムさん以外のメンバーの心配をよそにエンジンの音も軽やかに快調に出発。実は、この日の為に車のメンテナンス、そしてタイヤまで替えてくれたそう。ありがとう！トムさん。あと、5年は大丈夫、と修理の人に太鼓判を押されたとの事で、向こう5年間の旅行の際は、このバンのお世話になるのかなー。

一方、みんなが何かあった時の為に予備の車、が必要？と言う訳で一人寂しく先発してくれていた、ブチ隊長。それに、もう一台、キャプテンの車に同乗したゆりこさん、それぞれがMt. Pinosを目指して出発したのです。出発前、ニジャのフードコートで腹ごしらえをした、篤姫、ひまわり、くーこは、お腹の皮が膨らんで、道中の車中でうつらうつらとしている間に快調に車は進み、いつの間にか黄色く綺麗に色付いたポプラや真っ赤に色付いたメイプルが美しい山中を走っておりました。そのうち、丸太で作った山小屋風や、三角屋根の別荘が点々と道路沿いに見え始め、ブチ隊長から4部屋もある別荘に宿泊予定と聞いていた我々は、それぞれの胸に宿泊する豪華な別荘を思い描きながら景色を楽しんでいたのです。なので綺麗な外観の別荘が見えてくるたびに、あれかな？こっちなかな？なァ～んて

各自車窓から見える風景を楽しんでいるうちに、あまりグリーンのない、ゴルフ場らしき所に到着。

トムさん、曰く、ここで先発隊と待ち合わせてるんだけど、、、と、言うわけで駐車場を探したけどブチ隊長、キャプテンの姿はどこにも見えず、仕方なく、地図を頼りに宿泊予定の別荘めがけて自力で行く事に決定。ナビ役のしょうちゃんの道案内で進んだのはいいけれど、なァ～んか変？まず最初に左に曲がるはずの小道がない！！

と、言う訳で、もとおーい。最初からやり直し。どうやら、ゴルフ場を過ぎて直ぐ左に曲がるはずの道を見過ごしたらしい。



で、なんとか、その角を曲がると別荘が直ぐ角に見えるはずの道路までたどりつき、いよいよ素敵な別荘が見える!!!はず。だったけど、道路から見えた別荘は、周りの別荘に比べると

何となあーく、間口が狭く、貧弱に見えてしまった。おまけに玄関に入るための階段が貧弱、、、まさかあ、、、ここ？

と、思いながら車の窓から別荘を眺めていると（本当は荷物に囲まれた篤姫、ひまわり

、くーこは車から降りたくても回りの荷物を取り除いてくれないと身動きが取れないのでした。)、)、玄関ドアの窓から、誰かの顔が見える。そこには、車の音を聞きつけ中から顔を覗かせてくれたブチ隊長の懐かしいお顔が。。。あぁー。やっぱりここ!?!?!

なぁーんて、ちょっとがっかりしちゃった、篤姫、ひまわり、えのみ、くーこも、すぐに満面の笑みで、ブチ隊長に到着のご挨拶。

別荘の中に入ったメンバーは、直ぐに三階建ての別荘の部屋から部屋を探索、、、なんだか外観から見たより、立派、しかもリビングの窓は高い天井までの大きなガラス張り、すごーく豪華で眺めは最高。くもの子を散らした様に早速メンバーは階段をのぼったり、下がったり、今夜の自分の寝室選びにしばし奔走。で、それぞれ、好みの部屋を決め、落ち着いたところで、、、気がついた。

あれっ!、キャプテンとゆりこさんが来ない!!!。きっと、私たちみたいに道に迷ってるんじゃない?

暗くなったら何も見えなくなるし、熊も出そうだから明るいうちに到着出来るといいね。と、いいながら、のんびり、お茶やコーヒーを飲んでいた女性隊員と違って、さすが、男性隊員。その角までちょっと、見に行ってくる、、、と出かけて行った。

まだ、明るいから熊は出ないよねー。なぁんて、ベランダから覗いていたけど、、、いかんせん、遅い。一体、どうしたんだろー。電話も通じないし、、、なんて心配しているところに、キャプテンからやっと連絡がはいった。トムさん、回路の良い電話を持ってて良かったー。

どうやら、すぐ近くまで到着した模様。良かったーまずは、ひと安心。

キャプテンの話によると遅れた理由は、ドライブ中の景色や音楽を楽しんでいる間に、周りの道沿いにオレンジの花???

ややっ。やっど、道を間違えてしまった事に気がついたキャプテン。もう直ぐ、Bakers field という看板のある所までフリーウエーを軽やかに走ってしまったんだって。



いずれにしてもみんな無事に別荘に到着して良かった。でも、この時、キャプテンを迎えに外まで出て待っていたトムさん、転んでもただじゃあ起きないです。直ぐそばの道に落ちてたよぉーと、言って素敵なブレスレットを拾って来た。それには、”Enjoy the Moment”と刻んであるではありませんか。なんとなく、幸先の良い感じ!!!



さて、メンバーも揃った事だし、次は夕食かな。

今夜のメニューはカレー、サラダ、おつまみ、えのみちゃん特性のポテトサラダ、さんぴらごぼう、それにザーサイ。早速、今夜の炊事班の篤姫、ひまわり、ゆりこさん、く一こは玉ねぎ、にんじん、ジャガイモ何かを切り、篤姫持参の大きな、大きな、大きなMy鍋でカレー作り。が、なかなか沸騰しない。



気圧のせいかなー。プロパンガスのせいかなー。なあって思いながら気長に丁寧に作ったのでお味の方は、最高!

でも、待ちきれず、まずは上品にサラダ、おつまみの前菜、えのみちゃん特性の副食なんかを食べながら、ビール、ワインが進んでいるうちに、おいしそうなカレーの食欲をそそる匂いが部屋中に立ち込めてきました。みんなお腹が空いていたのですねー。ご飯も上手に炊けて、ちょっと煮込みが足りなかったけど、カレーって、次の日がいっぱいだよなえー。なあって言いながら、楽しい晚餐を終えました。



まだ、休むには早いし、折角の夜長を楽しむために荷物が多いのにわざわざウクレレまで持ち込んだ、ウクレレトリオに加え、ちゃんとハワイアンを踊るためのムームーまで持ち込み今夜の余興に備えた女性陣。

もちろん、豪華な別荘なので地下の娯楽室にはピアノもありましたから、ピアノを見たら、指がうずく、、、と言うか もう月光の曲の形に指がなりつつあるトムさんのピアノ独奏でエンターテイメントの始まり、始まり。あまり品質のよくないピアノだったけど、トムさんの腕でカバーしてトランスで聞かせてもらうよりもやっぱり雰囲気が出ていました。長年弾き続けていると思入れがどんどん籠って来ていい感じになって来るのですね。さすがー。

で、次の出し物はハワイアンとウクレレ伴奏(?)によるみんなの歌。この日の為に練習したウクレレも、もう少し練習とレパートリー作りが必要、ですね。

今回は、ガンバロー。そうこうしているうちに、お湯のタンクが小さいので一人づつ順番にシャワーを使わないといけない事に気がつき、とりあえず今夜はお開き、明日の頂上踏破の為にエネルギーを蓄える事にしました。おやすみなさい。





10月25日:

いよいよ、今日は頂上踏破の日。朝ごはんをしっかり食べねば。と、言う事で誰か曰くこれでアジのヒラキか、ほっけのヒラキがあったら旅館レベル。と言うくらい豪華な純日本風朝食を楽しんだのでした。これには、えのみちゃんがわざわざこの日の為に準備してくれたいたインスタントではない味噌汁付きだったのが功を奏しておりました。朝から、みんなハッピーモードです。頂上踏破の為に心の準備OKになりました。

さて、いよいよ今回の合宿のメインイベントです。途中まで車で乗り入れOKとの事でまたまた3台の車に乗り込んだメンバー。今回は、人数的に2台で十分じゃあないのー。と思ったけど、これには深い訳があったのでした。

さすが、ブチ隊長、あっちこっちの登山暦が長く、みんなの登山レベルもちゃんと、考えてくれていました。もし、誰かが途中で棄権、、、なんて事があったら、、、と言う訳でエキストラの車をちゃんと準備してくれていたんだって。



ありがたいねー。これで、何かがあっても大丈夫。

なあって思って入るうちにいよいよ登山口に到着。駐車場には “Mt. Pinos Nordic Base”

なあって看板のある建物もあって、丁度レンジャーみたいな人達が数人、お揃いのレスキュージャケットかなんか着ているのではないか。。。やっぱり、最高峰なので登るのが大変なのかなあ。大丈夫かなあー。なんて思っても

もう、遅い。ここまで来たら行ける所まで行くきゃないよ。と、決心した女性陣、一方、男性陣はさすが余裕の顔をしていました。でも思ったより、登山道の幅も広いしなだらか。ブチ隊長によるとこれは Fire Road

だそうな。えっ！火事があったら消防車の通る道。まあ、今の季節、山火事はないっしょ！ と思いながら、ふと 道路を見ると

まるで「となりのトトロ」に出てくる「まっくろくろすけ」みたいなのがたあーくさん転がってる。本当に半端じゃない数。見上げると、登山道の道沿いには立派に育った松の並木。あまり上を見上げていると、今にも落ちてきそうな立派な松ぼっくりがたくさんくっついていたのでした。

さすが、この辺りは自然がしっかり守られてるのですね。それにしても、こんなに松ぼっくりが転がっている道を歩くのは初めてです。後で、子供の時の様にそれらを蹴っ飛ばしながら歩いている隊員もいましたねー。「だんなに蹴りを入れる練習してるの？」なあって言われてましたけど。

それにしても、なんだか、呼吸が苦しい、いつもと感じが違う、まだ歩き始めたばかりなのに、、、と、思っていたらみんなも無口で黙々と歩いている。さすが、この山が高いのです。

気圧がかなり低くなっていた様でした。それでも、人間の体と言うのは順応性がある様です。



そのうち、なんとなく楽になって来た。どうやら体が回りの条件に対応し始めた様です。と、目の前に昨夜食べたザーサイの形にそっくりの岩が見えました。巨大なザーサイだあー。と、早速、みんなで記念撮影。やっぱり、一番高い所に上ったのは、、、証拠写真をご覧ください。

そして、また、「♪歩こおー。歩こおー♪」と、頂上目掛けて元気に出発したのでした。



途中、ゆりこさんが、ちょっと休んでいいですかー。と言いながらも、頑張った。途中の太陽光発電の為の小屋を頂上だと勘違いして、ちょっと疲れちゃったけど、キャプテンの健脚で頂上確認の為に道を確認してくれたのと、途中出会った、カップルが頂上まで後、5ー10分と言う言葉に勇気付けられて、見事、全員無事に登頂！

本当は、10分経ってるのに頂上らしきものは見えてこないの、やっぱり、アメリカ人と私達とは足の長さが違うよねーとかなんか言いながらも頑張ったのでした。お見事！！さすが頂上は眺めが良い。カリフォルニアの青い空、ちょっと風が強かったけど、大した事はなく、頂上で皆持参したバナナをほおぼった。バナナがこんなにおいしいなんて。再確認の皆でした。で、ここで一部、訂正。皆と言うのは間違いで、一名、体調を崩して別荘で休んでいたのはダンディしょうちゃん。昨夜は、元気そうに食事も進んでいたのに、、、残念でした。折角合宿まで来たのにねー。

さあ、これで目的達成と、意気揚々のメンバー。さあ、これから帰って酒盛りだぁー。と、言ってもまだ昼ごはんを食べていない。

帰ったとたん、台所に入り込んだえのみちゃんの超猛スピードで美味しい卵サンドとハムサンドの出来上がり。先にビールかなんかで盛り上がっていた男性陣はお腹が一杯になった途端お昼寝モード。こんなにのんびりと出来る瞬間って、たまには必要ですね。その間、順番にシャワーも取って、後は晩御飯を食べて寝るだけ、、、と言う女性陣もそれぞれゆっくりとゆったりとした別荘での時間を楽しみました。その前に、男性陣、昨夜はじゃんけんで寝る場所を決めたそうな。それでブチ隊長がソファだったんだっ

て。ブチ隊長曰く、俺ってじゃんけん弱いんだよなー。と言う事でメンバーの中で誰が一番強いかを定めるトーナメント戦の開始。

順番に、最初はグー、じゃんけんぽん！と周り、なんとく一こが勝ってしまった。

後の決勝戦は、部屋で休んでいるダンディーしょうちゃんと戦うのみ。後で、戦う予定だったけど、すっかり忘れちゃった。何かの機会に勝負をつけなくちゃ。

そして、いよいよ、今夜のメニューは「焼肉」と言う訳で、またまたえのみちゃんの出番。

野菜もたっぷり、お肉も柔らかくておいしい、バランスの良いサラダも最高！ワインも進みました。後でこの時の写真を見るとみんな良い笑顔で一杯でした。でも、ちょっと、何か足りない。デザート。アイスクリームを買って来るのを忘れちゃった。もう、店も開いてないし、第一、夜は熊が出る。ないとなると、益々、食べたくなる。と、篤姫、ひまわりさんが、あっ！どら焼きがあったんだー。スーツケースの底になって忘れてたと、栗入り、粒アン入りのドラ焼き二種類を、みんな両方の種類を味見出来る様に半分づつに切って仲良く楽しみました。



で、く一こが思い出した。満天の星をまだ見ていなかった。篤姫とひまわりさんは、しっかり昨夜、楽しんだそう。今夜はちょっと雲がかかっていたけれど、キャプテンの指南で白鳥座、それに天の川まで観察してしまった。兎に角、星の数が半端じゃなくて本当に素敵でした。これだけでも、合宿に参加した価値がありました。ただし、観察はベランダから。だって、熊さんに会っちゃったら、こわいもん。

さて、食事も一段落し、今夜の余興はどうしよおー。と思っていたら、ブチ隊長が控えめに「しりとり」とぼつんと言。

多分、他のメンバーは心の中で「ええっ。しりとり？」なんて思ってたのでしょうか。しばらく、みんな無言だったけど、またブチ隊長が「しりとり」

とさっきよりは大きめの声で。まあ、今夜は得に何も余興を考えていた訳ではないので、久しぶりに「しりとり」でもして、純粋な子供心に帰ろうかー。と、言う訳で始めた「しりとり」これが思ったより盛り上がり、多分延々と3時間ぐらひはしていたのではないのでしょうか？日本古来の素朴な遊びは、やっぱりいい！

と改めて思ったのでした。この「しりとり」、わざと、難しい音で終わる様に一生懸命

考えたり、自分の番が回ってきた途端、折角考えていた言葉をど忘れしたり。言いだしっぺのブチ隊長は「り」の付く言葉探しに頭を悩ましていたけど、そのうち、「り」だけじゃなく、「りょう」とか「りゅ」なんて言葉で始まる様な応用を考えたりして、結構

楽しい時間を過ごす事が出来ました。みんな、そのうち言葉がなくなってくると怪しげな言葉を作ったり、英語なんかも混ぜたり、本当に面白かったです。

今回は、何か言葉の範囲を食べ物とかに特定してやろー。と、言う事で予想以上に頭の体操をしてしまいました。で、疲れたのかブチ隊長がお先に一と、言って寝室に消えて行ってしまった。次に昨日は良く眠れなかった、と言うえのみちゃんも続いて部屋に。そして、篤姫、ひまわりさん、ゆりこさんとが部屋に引き込んでしまい、残ったのはキャプテン、トムさん、しょうちゃん、そしてくーこ。

そこで、キャプテンが最近ブックオフで偶然見つけて、すごく感動している、と言う「茨木のりこ」と言う詩人の詩を読み聞かせてくれました。この方、もう亡くなってしまわれたそうですが、生きておられたらもう90歳ぐらい。その頃にしては進歩的な考えを持っておられた様子、インターネットで見ると随分、美人だそうな。あったかい暖炉の火も雰囲気をかもし出し、ダンディしょうちゃんがいい顔をしてキャプテンが読んで下さる詩を聞いていた。もちろん、その様子をすかさずカメラに納めたくーこも感激しておりました。そうこうするうちにしょうちゃんも部屋に引き上げてしまったと、思ったらゆりこさんが部屋から出てきて宵っ張り組みの仲間入り。



今度は、前に感激のあまり歌っているうちにおお泣きしてしまったと言うトムさんの話を受けて、みんなの思い出の歌のご披露会。まず、トムさんの「郵便馬車の御者だった頃」この歌を教えて下さった方が阪神大震災で亡くなってしまわれたとの事、そして、

くーこは「りんごの歌」。なんか無かったかなーと、思って浮かんで来たのがこの歌。なぜだろー？そして、ゆりこさんは「早春賦」。雪深い、秋田出身で春が来るのが待ちどおしく友達といつも春が早く来ればいいのにといいながら歌ってたんだそう。そしてキャプテンが「白虎隊の歌」を披露。その時代に流行って、いろいろな思い出がある歌もあるけれど、それぞれの環境や何かで心に残っている歌もたくさんあるのですねー。やはり「歌」は素晴らしい！

と言う様な事を話しているうちに、トムさんのお母様と淡谷のり子との関係に話が進んだ。実は、あのブルースの女王、淡谷のり子はトムさんのお母様の子守をしていた時期があったそうです。その後、偶然の機会にお母様と売れ始めて有名になって来ていた淡谷のり子との再会の話も出てきて、眠たくなって来ていた瞼がまた、パッチリして来ました。あとは、トムさんの著名なお爺さまのお話も聞いているうちに、深夜になりさすがに瞼も重たぁーくなって来ました。素敵な暖炉があって、その中で赤々と燃える火がある、と言うのはちょっといつもと違ったくつろいだ雰囲気をかもし出してくれるのですね。また、この暖炉に使っている木くずを圧縮したチップが優れもの。匂いはないし、長時間火が持つし、点火も簡単だそう。翌朝、みんなでその話をしていたら、ブチ隊長曰く、このチップって食べられるんだってと言う。みんなでどれどれ、やっぱり原料は木だから自然の物だしねー。と、話している間、袋に書いてあるラベルをじっくり読んでいたトムさん。これは、このチップが食べられるわけじゃあなくて、同じ会社が鳥のえさも作ってるって書いてあるんだよ。だって。さすが、人間グーグルのトムさん。みんな試食する前に気がついてくれて良かった。良かった。

10月26日:

いよいよ、合宿最後の日。朝から元気に帰り支度をする人。元気に朝食の準備をする人。まだぼんやりしている人。でもさすが、MP9メンバー。定刻までに支度をして、じっくり煮込んで美味しくなったカレーの残りのごはんと、その他もろもろの食べ物を各自の胃の中に納め、残りの日用品なんかも綺麗に片付け、おまけに卵サンド、火腿サンド、お菓子、ナプキンまで入ったランチ袋まで人数分用意して、朝食後は皆でお掃除。今回、男性隊員の後片付けの際のチームワークは、見事なものでした。本当に！

みんな、手馴れた感じで皿洗い、オープン掃除、床掃除なぁーんかしてくれて、助かりました。ありがとう。皆さん、ご自宅でも実力を発揮して下さい。素晴らしい！



そういう訳で、男性陣のお掃除の腕前のお陰で来た時よりも台所はピッカピカ。気持ちいいー。床も掃除機のアトがくっきり、三階建ての掃除機がけ、きっと山登りよりも疲れたんじゃないかなー。有難う、ブチ隊長。

最後に入り口の階段のところで記念撮影をして解散。えのみちゃんが、私達が泊まった別荘からまだ山の方に登る道が続いていたので、あの先どうなってるのー。と、言う事で先を急ぐ必要のない、トムさんバンは、急遽、坂道を登る事に。ここでも、メンテナンスの効果が現れてました。で、道の先は得に何もないと、納得したえのみちゃん。もう、そろそろいいよ。と、言う事でユーターン。その途端、トムさんの、虹、虹、と言う声にメンバー、一斉に窓に顔をくっつけると、なんと、見事な虹が見えた。今朝、霧が出ていたので太陽の光が出た途端、虹が現れたのですね。本当に今回は最初から最後までラッキーの連続でした。

その後、トーランス組みはトムさんの事務所に立ち寄り、合唱祭の時のCDを聞きながら、お持ち帰りのサンドイッチランチを食べ、しばし歓談して解散の運びとなりました。

今回も本当に楽しい合宿旅行でした。次回が待ち遠しいですね。

文責：くーこ（今回は、回想風の旅行記にしてみました。ですので独断と偏見の長文になってしまいました。最後まで目を通して下さった方、有難うございます。今回、ご一緒出来なかった方、次回は是非ご一緒致しましょう。）